

1 秋川市・五日市町合併促進協議会規約

(目的)

第1条 この協議会は、秋川市及び五日市町の合併に関する諸問題について、必要な協議を行うことを目的とする。

(名称)

第2条 この協議会は、秋川市・五日市町合併促進協議会（以下「協議会」という。）という。

(協議会を組織する市町)

第3条 協議会は、秋川市及び五日市町（以下「両市町」という。）をもって組織する。

(協議事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 両市町の合併に必要な調査検討に関すること。
- (2) 新市建設計画に関すること。
- (3) その他合併に必要な事項に関すること。

(組織)

第5条 協議会は、両市町の各首長、助役及び議会議員7名合計18名をもって組織する。

(役員)

第6条 協議会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 会計 1名
- (5) 監事 2名

2 役員は、委員の互選により選出する。

(役員の仕事)

第7条 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第8条 会議は、総会及び役員会議並びに全体会議とし、会長が必要の都度招集する。

2 総会は、次の事項を審議する。

- (1) 予算・決算に関すること。
- (2) 規約の改廃に関すること。

(3) 役員を選任に関する事。

(4) その他重要事項に関する事。

(事務処理)

第9条 協議会の事務処理は、両市町が共同して処理する。

(協議会の経費)

第10条 協議会に要する経費は、両市町が負担する。

(監査)

第11条 協議会の出納は、必要の都度、監事が監査する。この場合において、監事は監査の結果を協議会の会長に報告しなければならない。

(委任)

第12条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成4年4月8日から施行する。

この規約は、平成5年4月21日から施行する。

2 秋川市・五日市町合併促進協議会委員名簿

1 平成4年4月8日

(敬称略)

区 分	秋 川 市			五 日 市 町		
	役員名	氏 名	備 考	役員名	氏 名	備 考
行政側	会 長	白井 孝	市 長	副会長	田中 雅夫	町 長
	監 事	渡邊 三省	助 役	監 事	遠藤 正行	助 役
議 会 側	理 事	村野 茲美	委員長	理 事	磐本 宣雄	委員長
	理 事	鈴木百合子	副委員長	理 事	乙津 武	副委員長
	委 員	岡野 郁代		委 員	田野倉由男	
	委 員	河野 猛		委 員	黒山儀一郎	
	委 員	中村 進		委 員	橋本 昌司	
	委 員	高木 源一		委 員	井上 裕	
	委 員	馬場 辰夫		委 員	松本 榮一	

2 平成5年4月21日

(敬称略)

区 分	秋 川 市			五 日 市 町		
	役員名	氏 名	備 考	役員名	氏 名	備 考
行政側	副会長	白井 孝	市 長	会 長	田中 雅夫	町 長
	監 事	渡邊 三省	助 役	監 事	遠藤 正行	助 役
議 会 側	理 事	村野 茲美	委員長	理 事	磐本 宣雄	委員長
	理 事	鈴木百合子	副委員長	理 事	乙津 武	副委員長
	委 員	岡野 郁代		委 員	田野倉由男	
	委 員	河野 猛		委 員	黒山儀一郎	
	委 員	中村 進		委 員	橋本 昌司	
	委 員	高木 源一		会 計	井上 裕	
	委 員	馬場 辰夫		委 員	松本 榮一	

3 平成5年11月4日

(敬称略)

区 分	秋 川 市			五 日 市 町		
	役員名	氏 名	備 考	役員名	氏 名	備 考
行政側	副会長	臼井 孝	市長	会長	田中 雅夫	町長
	監事	渡邊 三省	助役	監事	遠藤 正行	助役
議 会 側	理事	村野 茲美	委員長	理事	松本 榮一	委員長
	理事	鈴木百合子	副委員長	理事	奥秋 利郎	副委員長
	委員	村木 英幸		会計	田野倉由男	
	委員	岡野 郁代		委員	渡邊 弘司	
	委員	御手洗 武		委員	立川 勝好	
	委員	河野 猛		委員	岸 元彦	
	委員	馬場 辰夫		委員	井上 裕	

4 平成6年4月27日

(敬称略)

区 分	秋 川 市			五 日 市 町		
	役員名	氏 名	備 考	役員名	氏 名	備 考
行政側	会長	臼井 孝	市長	副会長	田中 雅夫	町長
	監事	渡邊 三省	助役	監事	遠藤 正行	助役
議 会 側	理事	村野 茲美	委員長	理事	松本 榮一	委員長
	理事	鈴木百合子	副委員長	理事	奥秋 利郎	副委員長
	委員	村木 英幸		委員	田野倉由男	
	会計	岡野 郁代		委員	渡邊 弘司	
	委員	御手洗 武		委員	立川 勝好	
	委員	河野 猛		委員	岸 元彦	
	委員	馬場 辰夫		委員	井上 裕	

※ 平成6年7月15日五日市町議会側役員改選、奥秋議員に代わり立川議員が副委員長となり、促進協議会の理事となる。

3 将来構想住民説明会の状況

(1) 秋川市地域将来構想住民説明会参加者数

期 日	会 場	対 象 地 域	参加者数
5月23日	楓ヶ原会館	上引田町内会区域、中引田町内会区域	105名
24日	下引田会館	下引田町内会区域	80名
25日	測上会館	測上町内会区域	14名
26日	千代里会館	上代継町内会区域、下代継町内会区域	29名
27日	牛沼会館	牛沼町内会区域	24名
30日	秋川駅南口クラブハウス	油平自治会区域	35名
31日	八幡会館	油平本町町内会区域	20名
6月 1日	萩野センター	雨間町内会区域、緑の里自治会区域	40名
2日	鳥居場会館		27名
3日	いきいきセンター		22名
6日	秋川市役所第5庁舎 (旧福祉会館)	大塚自治会区域 市営秋留野ハイツ自治会区域	20名
7日	野辺地区会館	野辺町内会区域	43名
8日	野辺地区会館		23名
9日	野辺地区会館		29名
10日	野辺地区	二宮団地自治会区域 舞知川自治会区域 ホームタウン秋川自治会区域 前田自治会区域	25名
13日	二宮地区会館	二宮町内会区域	60名
14日	二宮地区会館		18名
15日	二宮地区会館	秋留台自治会区域 秋川ハイツ自治会区域 屋城自治会区域	25名
16日	玉見会館	小川東町内会区域	21名
17日	小川会館	小川町内会区域	28名
20日	農業会館	平沢町内会区域	23名
21日	草花台会館	森山町内会区域、高瀬町内会区域	24名
22日	草花台会館	草花町内会区域、草花住宅自治会区域	23名
23日	折立会館	折立町内会区域	29名
24日	御堂会館	小宮久保町内会区域 羽ヶ田町内会区域、小宮町内会区域 原小宮町内会区域	35名

6月27日	松山会館	西ヶ谷戸町内会区域 松山町内会区域 草花台パークハイツ町内会区域	15名
28日	瀬戸岡会館	瀬戸岡町内会区域	38名
29日	瀬戸岡会館		20名
30日	尾崎会館	菅生町内会区域 四軒在家町内会区域、尾崎町内会区域	30名
7月1日	富士見台自治会館	富士見台自治会区域 間坂台自治会区域	38名
合 計			963名

(2) 五日市町地域将来構想住民説明会参加者数

期 日	会 場	対 象 地 域	参加者数
5月25日	戸倉財産区会館	本郷下宿・本郷中宿・本郷上宿 西戸倉・星竹・坂十・盆堀区域	83名
26日	小宮小学校体育館	落合・乙津・青木平・軍道・下養沢 木和田平・神谷・上養沢・寺岡区域	95名
27日	小中野会館	下小中野・上小中野区域	55名
30日	五日市町民会館	東町・下町・仲町・小庄・上町・ 五日市入野・栄町・小和田区域	123名
31日	山下自治会館	小倉・山下・樽・深沢区域	62名
6月1日	留原自治会館	留原・中村区域	51名
2日	高尾自治会館	高尾区域	30名
3日	下館谷自治会館	下館谷・上館谷区域	51名
7日	増戸小学校体育館	上宿・中平・大上・横沢区域	97名
8日	新宿会館	新宿区域	35名
9日	ファインプラザ	森ノ下区域	53名
10日	北伊奈会館	北伊奈・北伊奈西区域	20名
13日	山田会館	山田下分・山田中分・山田上分・網代 区域	53名
14日	三内クラブ	三内・小机区域	33名
合 計			841名

4 合併に関する住民意識調査の結果

1 調査対象・調査方法等

- (1) 調査対象 秋川市・五日市町に在住の満20歳以上の男女3,500人
(秋川市2,461人、五日市町1,039人)
- (2) 抽出方法 単純無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送方式(督促状を1回発送)
- (4) 回答形式 選択回答形式
- (5) 回答数 2,419人(秋川市1,652人、五日市町767人)
- (6) 回収率 69.1%(秋川市67.1%、五日市町73.8%)
- (7) 調査期間 平成6年7月27日から8月8日

2 調査内容

- 問1 地域行政への関心(省略)
- 問2 合併問題の周知度
- 問3 合併問題への関心
- 問4 合併に対する賛否
- 問5 合併した場合に期待する施策
- 問6 性別(省略)
- 問7 年齢(省略)
- 問8 職業(省略)
- 問9 居住地域(省略)
- 問10 居住年数(省略)

3 調査の結果

問2 合併問題の周知度

現在、秋川市と五日市町との間で合併の動きがあり、合併促進協議会を設置して、合併に向けての協議、住民に対する広報活動などを行っていますが、あなたはこの合併の動きについてご存じですか。							
回	答	秋川市		五日市町		総計	
1	よく知っている	461人	27.9%	290人	37.8%	751人	31.1%
2	少しは知っている	1,049人	63.5%	437人	57.0%	1,486人	61.4%
3	知らない	142人	8.6%	33人	4.3%	175人	7.2%
	無回答	-	-	7人	0.9%	7人	0.3%

問3 合併問題への関心

あなたは、この合併問題についてどの程度関心をお持ちですか。						
回	答	秋川市		五日市町		総計
1	非常に 関心を持 っている	408人	24.7%	307人	40.0%	715人 29.6%
2	多少は 関心を持 っている	901人	54.5%	350人	45.7%	1,251人 51.7%
3	あまり 関心を持 っていない	294人	17.8%	86人	11.2%	380人 15.7%
4	全く 関心を持 っていない	42人	2.6%	16人	2.1%	58人 2.4%
無	回 答	7人	0.4%	8人	1.0%	15人 0.6%

問4 合併に対する賛否

あなたは、秋川市と五日市町とが合併することについて賛成ですか、反対ですか。						
回	答	秋川市		五日市町		総計
1	賛成	373人	22.6%	166人	21.6%	539人 22.3%
2	どちらか といえ ば 賛成	357人	21.6%	129人	16.8%	486人 20.1%
3	どちら とも いえ ない	642人	38.9%	240人	31.3%	882人 36.5%
4	どちら か とい え ば 反 対	141人	8.5%	103人	13.4%	244人 10.1%
5	反対	129人	7.8%	124人	16.2%	253人 10.4%
無	回 答	10人	0.6%	5人	0.7%	15人 0.6%

付問 どちらともいえない理由

「どちらともいえない」とお答えになったのはどのような理由からですか。						
回	答	秋 川 市		五 日 市 町		無 回 答
1	直接には自分の生活に関係がない	67人	10.4%	22人	9.2%	89人 10.1%
2	行政等の判断に委ねた方がよい	32人	5.0%	12人	5.0%	44人 5.0%
3	利点と欠点の判断が難しい	417人	65.0%	158人	65.8%	575人 65.2%
4	自分には難しすぎて判断できない	101人	15.7%	33人	13.8%	134人 15.2%
5	その他	16人	2.5%	15人	6.3%	31人 3.5%
	無 回 答	9人	1.4%	-	-	9人 1.0%

問5 合併した場合に期待する施策

秋川市と五日市町が合併した場合、あなたはどのような施策に期待しますか。						
回	答	秋 川 市		五 日 市 町		無 回 答
1	福祉や教育の充実	623人	37.7%	274人	35.7%	897人 37.1%
2	居住地周辺の道路や下水道の整備	785人	47.5%	359人	46.8%	1,144人 47.3%
3	五日市線の改善やバス路線網の整備	823人	49.8%	374人	48.8%	1,197人 49.5%
4	図書館等公共施設の充実	255人	15.4%	92人	12.0%	347人 14.3%
5	高等教育機関の誘致・整備	111人	6.7%	48人	6.3%	159人 6.6%

6	生涯学習センターの整備	338人	20.5%	173人	22.6%	511人	21.1%
7	農林業や商工業の育成、振興	116人	7.0%	67人	8.7%	183人	7.6%
8	大規模商業施設や飲食店街の整備	172人	10.4%	75人	9.8%	247人	10.2%
9	広域幹線道路の整備	467人	28.3%	212人	27.6%	679人	28.1%
10	新交通システムの整備	347人	21.0%	90人	11.7%	437人	18.1%
11	秋留台開発の推進	167人	10.1%	41人	5.3%	208人	8.6%
12	秋川流域の豊かな自然の保全	925人	56.0%	451人	58.8%	1,376人	56.9%
13	企業誘致等による就業の場の確保	241人	14.6%	91人	11.9%	332人	13.7%
14	高齢者等住みよいまちづくりの推進	730人	44.2%	348人	45.4%	1,078人	44.6%

秋川市と五日市町が合併した場合に期待する施策については、2市町とも上位5位に同じ項目が並んだ。第1位は「秋川流域の豊かな自然の保全」で全体の半数以上がこれを挙げており（秋川市；56.0%、五日市町；58.8%）、第2位が「五日市線の改善やバス路線網の整備」（秋川市；49.8%、五日市町；48.8%）、第3位が「居住地周辺の道路や下水道の整備」（秋川市；47.5%、五日市町；46.8%）、第4位が「高齢者や障害者にも住みよいまちづくりの推進」（秋川市；44.2%、五日市町；45.4%）、第5位が「福祉や教育の充実」（秋川市；37.7%、五日市町；35.7%）となっている。